

調査研究報告書の要約

分類・テーマ別		分類・業種別			
書名	2019年度 情報通信技術（ICT）等を利用した生産システムにおける人の安全確保を実現するための調査研究報告書				
発行機関名	一般社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	2020年3月	頁数	150頁	識別	2019標準化

[目次]

はじめに

1. 背景と目的

2. 提言

2.1. 新たなハザード

2.2. 確定的ハザード

2.3. 最終的な対策

3. ICT を利用した生産システムの安全性確保に関する検討

3.1. つながる生産システム

3.2. 生産システムのセキュリティリスクの課題

4. 生産システムのセキュリティリスクアセスメントの手順

4.1. 前提となる生産システムと ICT 導入

4.2. リスクアセスメントの手順

4.3. リスクの低減方策

4.4. セキュリティ設計

5. 生産現場におけるセキュリティリスクの KY アプローチ

5.1. セキュリティリスク KY 3つのアプローチ

5.2. 生産現場のセキュリティリスク 8か条

6. 人と協調作業を行う機械におけるリスクや安全性確保の考え方

7. 今後の課題

参考文献

おわりに

付録 A-用語の解説

付録 B-セキュリティリスクアセスメント表

付録 C-セキュリティリスクアセスメントの事例

付録 D-生産現場におけるセキュリティリスク KY のアプローチ

付録 E-生産システムのセキュリティインシデント事例

付録 F-作業委託報告書（議事録等を含む）

[要約]

機械安全に関しては、安全の基本概念から個別機械の安全に至るまでの技術による工学的対策を基本とする考え方が、ISO/IEC 国際標準として体系化されている。

現在、製造業における大きな流れとして、情報通信技術（ICT）の利活用による生産環境の革新が進められているが、これまでの機械安全では考えられていなかったセキュリティリスクへの対応が課題となっている。

本事業では、セキュリティリスクを考慮した安全な生産システムの構築方法について検討してきた。本報告書は、3年間の検討成果をまとめたものである。

以上